

■ 平成 27 年度事業報告書 ■

一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟

I 事業期間

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

II 事業報告の概要

1. 概況

- (1) 平成 22 年 4 月の法人設立から 6 期目となる年度を終了。
- (2) プレーヤーの育成および日本代表チーム強化をはかる活動に積極的に取り組んだ。特に平成 27 年度は第 8 回キンボールスポーツワールドカップ 2015 男女日本代表チームが成果を上げるためのバックアップを行い、男子優勝、女子準優勝の結果を勝ち得た。
- (3) 助成事業を積極的に活用した。独立行政法人日本スポーツ振興センター平成 27 年度スポーツ振興くじ (toto) 助成事業として 3 事業を主催実施。また、公益財団法人スポーツ安全協会平成 27 年度スポーツ普及奨励助成事業として 1 事業を主催実施。

○独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成 27 年度スポーツ振興くじ (toto) 助成事業

1) 第 16 回キンボールスポーツジャパンオープン・フレンドリーカップ

- ・愛知県で初の全国大会開催。

2) キンボールスポーツ指導者講習会 2015

- ・北海道、岩手、東京 5 回、愛知 2 回、石川 2 回、京都、大阪、和歌山 2 回、兵庫 2 回、鳥取、香川、愛媛、沖縄 (全国 13 か所 21 回) にて、指導者講習会を開催。

3) キンボールスポーツ競技要覧制作提供事業

- ・競技普及のためのミニパンフレットの制作および配布。

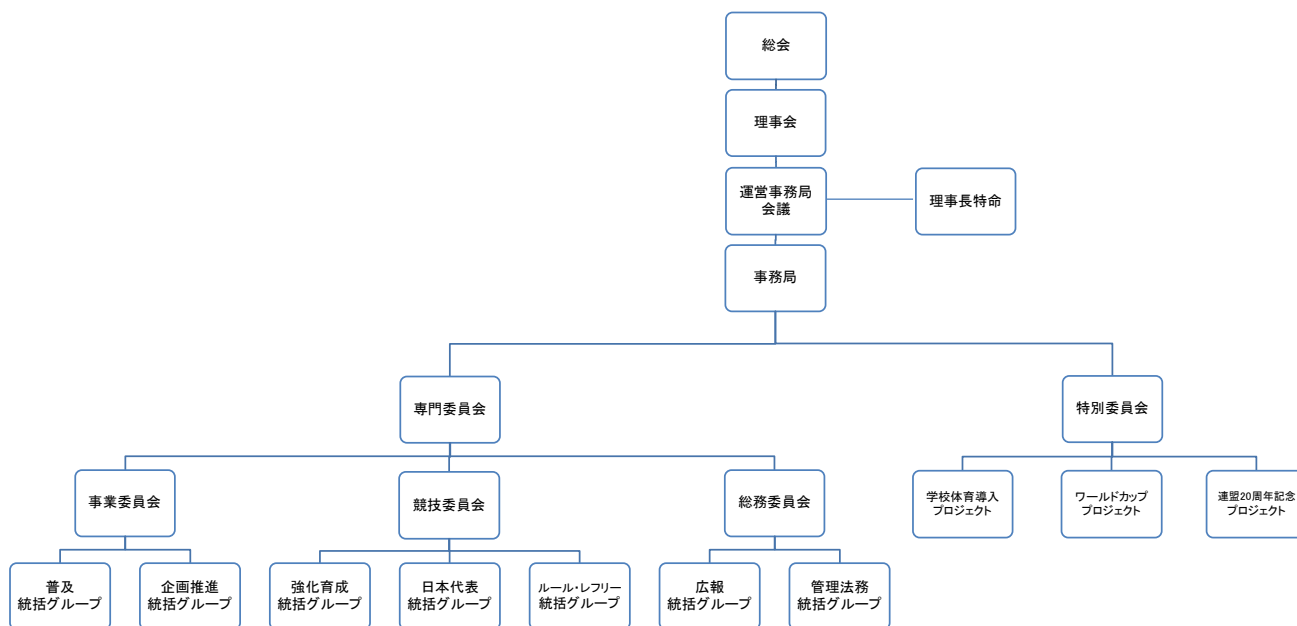
○公益財団法人スポーツ安全協会 平成 27 年度スポーツ普及奨励助成事業

1) 第 16 回キンボールスポーツジャパンオープン・チャンピオンズカップ

- ・国際キンボールスポーツ連盟よりレフリー指導者 1 名招へい。

2. 組織運営

- (1) 日本キンボールスポーツ連盟では新中期目標の達成をめざし、かつ次世代へつなぐことのできる運営体制づくりの議論を重ねてきた。現在の組織のポイントは、普及、強化、基盤整備を柱として、当連盟運営組織の充実拡大を図り、最前線で指導的立場にある人材を登用することによって、新たな意見を運営に活かすことにある。また、リーダーシップを発揮できる人材の育成にも力を注いでいる。
- (2) 本年度も総会、理事会で決定した事項の実施については運営事務局会議で審議、決定し、その事柄について、委員会（専門委員会、特別委員会）において業務、任務にあたった。また、各委員会、プロジェクトより運営事務局会議に対して各種提案を行い、それに基づいた事業、取組も実施している。



■新中長期目標 6 項目■

■ 学校体育（正課）カリキュラムへの導入

関係省庁、市町村教育委員会等にはたらきかけキンボールスポーツが学校体育の教材として正式導入されることをめざします。

■ 国体ならびに全国規模のスポーツイベントへの積極的参加

国民体育大会デモンストレーション種目として継続参加をめざします。開催地となる都道府県支部連盟の強化と日本連盟の支援を徹底します。

■ 全国 47 都道府県支部設立及び日本体育協会への加盟

全国 47 都道府県すべてに支部を設立することをめざします。未だ支部設立されていない県を中心に連盟主催講習会を行い、普及をすすめます。また、関係者にはたらきかけ支部設立に取り組んでいます（現在 37 都道府県に都道府県団体設立）。支部の都道府県体育協会加盟も推進し、日本体育協会加盟団体をめざします。

■ アジアキンボールスポーツ連盟の設立とアジア各国との国際交流推進

2011 年の兵庫県宝塚市におけるパン・パシフィックカップ開催を契機にアジア諸国にはたらきかけ、アジア連盟の設立をめざします。またアジア選手権などキンボールスポーツを通じた国際交流を促進します。

※2014 年度（平成 26 年度）アジアキンボールスポーツ連盟、設立。

■ 多世代や障がいをもつ人々の参加機会の拡充、交流大会の創設

キンボールスポーツがすべての人々に開かれたスポーツであることをめざします。ルールバリエーションの採用、新たな普及プログラムの開発や関係団体との連携により、誰もが参加しやすい環境づくりに取り組んでいきます。

■ 組織基盤・財政基盤の早期確立による事業の充実

平成 22 年度（2010 年）より日本キンボールスポーツ連盟は一般社団法人に生まれ変わりました。今後より一層の事業の充実のため、制度・組織の見直しを図り基盤整備の充実をめざします。

Ⅲ 事業別報告

1. 指導者、支部養成関連事業

★平成 27 年度データはすべて平成 28 年 3 月 31 日現在のもの

(1) 登録者 (ファン※)

※…ファン：旧サブリーダー (無料登録)、旧サポーター、サポーターを含む任意団体時代からのすべての登録者。

- ・平成 27 年度 新規数 343 名 (平成 26 年度：426 名)
- ・平成 27 年度 総数 計 19,216 名 (平成 26 年度：計 18,873 名)

(2) 普通会员 (サポーター)

- ・平成 27 年度 新規数 264 名 (平成 26 年度：284 名)
- ・平成 27 年度 総数 計 1,225 名 (平成 26 年度：計 1,320 名)

■指導者

(1) リーダー

- ・平成 27 年度 新規数 178 名 (平成 26 年度：235 名)
- ・平成 27 年度 総数 計 518 名 (平成 26 年度：計 574 名)

(2) マスター

- ・平成 27 年度 新規数 12 名 (平成 26 年度：18 名)
- ・平成 27 年度 総数 計 407 名 (平成 26 年度：計 467 名)

(3) グランドマスター

- ・平成 27 年度 新規数 0 名 (平成 26 年度：2 名)
- ・平成 27 年度 総数 計 15 名 (平成 26 年度：計 24 名)

■レフリー

(1) C 級レフリー

- ・平成 27 年度 新規数 94 名 (平成 26 年度：71 名)
- ・平成 27 年度 総数 計 547 名 (平成 26 年度：計 568 名)

(2) B 級レフリー

- ・平成 27 年度 新規数 5 名 (平成 26 年度：9 名)
- ・平成 27 年度 総数 計 31 名 (平成 26 年度：計 44 名)

(3) エグゼクティブ B 級レフリー

- ・平成 27 年度 新規数 2 名 (平成 26 年度：1 名)
- ・平成 27 年度 総数 計 5 名 (平成 26 年度：計 3 名)

(4) A 級レフリー

- ・平成 27 年度 新規数 7 名 (平成 26 年度：8 名)
- ・平成 27 年度 総数 計 16 名 (平成 26 年度：計 11 名)

(5) エグゼクティブ A 級レフリー

- ・平成 27 年度 新規数 2 名 (平成 26 年度：0 名)
- ・平成 27 年度 総数 計 2 名 (平成 26 年度：計 0 名)

■支部 (正会員)

- ・平成 27 年度新規認定支部 1 支部 (平成 26 年度：新規認定支部なし)

※平成 27 年度末現在 37 都道府県団体 (35 支部、2 準支部)

2. 主催事業 計 23 事業

(1) 大会主催 2 事業

①全国大会

- 【事業名】第16回キンボールスポーツジャパンオープン・チャンピオンズカップ
【期 日】6月27日(土)
【場 所】東京都中央区・中央区立総合スポーツセンター
【参 加】42チーム、202名参加
【備 考】公益財団法人スポーツ安全協会 平成27年度スポーツ普及奨励助成事業

②全国大会

- 【事業名】第16回キンボールスポーツジャパンオープン・フレンドリーカップ
【期 間】11月14日(土)、15日(日)
【場 所】愛知県知多市・知多市民体育館
【参 加】129チーム、658名参加
【備 考】独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成27年度スポーツ振興くじ助成事業

(2) 講習会主催 21 事業

①指導者講習会

- 【事業名】キンボールスポーツ指導者講習会2015
【事業回数】21回
【場所および期日】
・第1回愛知4月12日 ・第1回東京4月29日 ・京都5月2日 ・第2回東京5月4日
・石川5月24日 ・第1回兵庫5月30日 ・第2回兵庫6月14日 ・第3回東京6月28日
・第1回和歌山7月5日 ・北海道7月10、11日 ・第2回愛知7月12日 ・第4回東京7月18、19日
・第2回和歌山8月29日 ・石川(全国講習)10月3、4日 ・兵庫、大阪(関西地区)10月10、11日
・沖縄10月18日 ・岩手11月1日 ・鳥取12月12日 ・第5回東京12月12日
・香川1月17日 ・愛媛2月28日
【講習内容】レベル別指導者講習会、レベル別レフリー講習会ほか
【参 加】全21回計831名
【備 考】独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成27年度スポーツ振興くじ助成事業

②B級レフリー認定試験

- 【事業名】B級レフリー認定試験
【事業回数】3回
【場所および期日】・北海道7月11日 ・東京7月19日 ・大阪10月11日
【参 加】全3回計10名

③B級レフリー認定試験事前講習会

- 【事業名】「B級レフリー認定試験」のための講習会
【事業回数】3回
【場所および期日】・北海道7月10日 ・東京7月18日 ・兵庫10月10日
【参 加】全3回計10名

④C級レフリー講習会担当講師研修会

【事業名】C級レフリー講習会、認定試験 担当講師研修会

【事業回数】2回

【場所および期日】・東京4月29日 ・愛知7月12日

【参加】全2回計6名

⑤ルール講習会

【事業名】第6回「世界を学ぶ」キンボールスポーツ講習会2015

【事業回数】1回

【場所および期日】東京6月28日

【参加】計40名

【備考】国際キンボールスポーツ連盟より講師1名招へい

⑥レフリー講習会

【事業名】第6回「世界を学ぶ」キンボールスポーツ講習会2015

【事業回数】1回

【場所および期日】東京6月28日

【参加】計14名

【備考】国際キンボールスポーツ連盟より講師1名招へい

3. 派遣事業 計5事業

【事業内容】キンボールスポーツ体験の機会提供、指導者、レフリー養成

【事業実績】27年度指導者派遣 計5事業

4. 普及推進関連事業

(1) 支部助成、リーグ助成

【事業内容】

- ①各都道府県連盟に対して、当該都道府県在住を中心とした普通会员所属者数に応じて会費還元金を各都道府県連盟に活動資金として支払う。
- ②支部（正会員である都道府県連盟）が用具購入、大会・講習会開催、その他普及・支部運営活動に関して資金面で補助が必要な場合、理事会に書面を持って申し出る。「支部助成金交付要綱」に基づき理事会または運営事務局会議で審議後、必要に応じて補助・応援体制をとる。
- ③競技としての発展および活性化目的のために、支部等の主催で行うワールドカップに準じた試合形式のリーグ戦を開催するにあたり、経費の一部を助成する。

【事業実績】

- ①年度報告を終えた13都道府県連盟に会費還元金の支払を完了。
- ②事業助成に関して、27年度は次の3支部3件の助成を実施。
 - ・石川県キンボールスポーツ連盟「第3回石川県キンボールスポーツ連盟会長杯 兼 キンボールスポーツ日本代表壮行試合」への大会助成。
 - ・沖縄県キンボールスポーツ連盟「第13回那覇市長杯 KIN-BALL sport ENJOY CUP」への大会助成。
 - ・宮城県キンボールスポーツ連盟「キンボールスポーツマスターズ大会2016」への大会助成。

③リーグ助成に関して、27年度は次の1リーグの助成を実施。

- ・北信越地区リーグ戦実行委員会「第2期北信越地区リーグ戦」への助成。

(2) 広報

【事業内容】 キンボールスポーツのPR活動

【事業実績】

①広報誌（会報）の制作、発送。年1回実施。

②ホームページの管理、運営。

事業案内、事業レポート等の掲載。通年実施、年間93日更新。

③フェイスブックページの管理、運営。

ワールドカップ現地情報をはじめ地域大会、講習会情報発信、地域担当者による事業レポート発信、全国各地の新聞、テレビ、広報の取材情報などを掲載。通年実施、年間252記事掲載。

(3) キンボールスポーツパートナーシップおよびオフィシャルスポンサー契約

【事業内容】

①パートナーシップ契約：パートナー団体や企業の団体名、ロゴマーク、キャッチコピー等が入ったキンボールを講師派遣講習会や大会において優先使用し、パートナー団体や企業が当連盟の諸活動へ協力、協賛していることを参加者や観戦者等にアピールする。

②パートナーシップ契約：横断幕やポスター掲示、資料の配布などの希望支援スタイルの提供により、パートナー団体をアピールする。

③オフィシャルスポンサー契約：カテゴリー独占権を有し、連盟ロゴなど企業広告活動において使用することができる。

【事業実績】

①梅花女子大学（大阪府茨木市）と継続契約。

②有限会社両国あんこあられ本舗両国國技堂（東京都墨田区）と継続契約。

③マルハニチロ株式会社（東京都江東区）、株式会社サンラッキー（大阪市）と継続契約。

(4) グッズ、備品等企画

【事業内容】 キンボールスポーツに関する用具、備品等の企画、制作

【事業実績】 27年度実績 うちわ、ルールブック、レフリーマニュアル

(5) キンボールスポーツ普及協力

【事業内容】 キンボールスポーツの用具、備品の貸与

【事業実績】 27年度実績 有料貸与40件 無料貸与7件 貸与合計47件

5. 団体管理運営事業

(1) 主な諸会議

【事業内容】 当連盟運営および活動に関する事項についての審議、検討

【事業実績】

①定時社員総会 1回（大阪／6月13日）

②理事会 2回（大阪／5月23日、3月5日）

③運営事務局会議 6回（大阪／5月23日、7月25日、9月12日、12月5日、2月13日、3月5日）

(2) 主催事業および役員・指導担当者他の保険加入

【事業内容】 主催事業および指導担当者他の保険加入

【事業実績】

- ①年間契約（対象：主催事業／更新：9月）の傷害保険に加入。
- ②会長、副会長、理事長、副理事長、理事、委員長、グループ長、グループメンバー、事務局のスポーツ安全保険（傷害、賠償責任）36名 加入。
- ③団体賠償責任保険に新規加入。

6. 27年度特別事業

(1) ワールドカップ日本代表チーム強化および選手団派遣事業

【事業内容】 ワールドカップ男女日本代表チーム強化および1チームずつの選手団派遣に伴う業務

【場 所】 日本国内および大会開催地

【備 考】

合 宿：4月から7月まで 男子チーム7回、女子チーム7回

派遣場所：スペイン マドリード州 トレホン・デ・アルドス

派遣期間：8月15日(土)～8月24日(月)

大会名称：第8回キンボールスポーツワールドカップ2015

大会期間：8月18日(火)～8月22日(土)

大会主催：国際キンボールスポーツ連盟

大会結果：

最終順位	男子の部	女子の部
優勝	日本	カナダ
準優勝	フランス	日本
3位	チェコ	フランス
4位	カナダ	ベルギー
5位	ベルギー	韓国
6位	スイス	スペイン
7位	中国	スイス
8位	スロバキア	中国
9位	スペイン	チェコ
10位	デンマーク	—
11位	韓国	—
12位	オーストリア	—

(2) 国体協力事業

【事業名】 紀の国わかやま国体 デモンストレーションスポーツ キンボールスポーツ

【期 日】 8月30日(日)

【場 所】 和歌山県田辺市・田辺スポーツパーク体育館

(3) 競技および団体の概要説明冊子の制作・提供事業

【事業内容】 競技普及のためのミニパンフレットの制作、提供。

【備 考】 独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成27年度スポーツ振興くじ助成事業

(4) INDIE SPORTS FREAKS プロジェクト

【事業内容】

キンボールスポーツをはじめ、チアリーディング、スカッシュといったメジャーでないが、いつか世界に驚きを与える可能性のある種目の日本代表を応援するプロジェクト。公式スポンサーとしてマルハニチロ株式会社の支援のもと立ち上がり、専用のフェイスブックページでの種目PR等の広報を行う。

【備考】

投稿内容に対して、閲覧者からの「いいね！」数をスポンサー契約金以外のボーナスとしても3団体で競う。

(5) その他の主な事業

【事業名】 東日本大震災被災地支援事業

【事業内容】

岩手、宮城、福島の3県の連盟にキンボール（中古）、インナーボールを寄贈。義援金を用具購入の原資の一部として執り行った。